

「地球環境株ファンド（愛称 環境くん）」のご投資家の皆様へ

繰上償還決定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じ上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現在ご投資いただいております「地球環境株ファンド（愛称 環境くん）」（平成十九年八月設定）につきまして、平成二十八年八月三十一日から同年十月六日まで繰上償還に関する異議申立ての受付を行ないました。その結果、異議を申立てた受益者の方の受益権の合計口数が、平成二十八年八月三十一日現在の受益権総口数の二分の一を超えませんでしたので、予定どおり、平成二十八年十一月十七日に繰上償還を実施しますので、お知らせいたします。

当ファンドは、主として、マザーファンドを通じて、国内外の株式の中から、環境への取組み姿勢等に着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資することにより、信託財産の成長をめざすファンドとして設定されました。

国内外の株式市場については、海外株式市場は上昇しましたが、国内株式市場は下落しました。海外株式市場は、設定当初は米国を震源地とした金融危機を受け大きく下落しましたが、平成二十一年三月以降は、米国の金融不安の後退、日米欧の主要中央銀行による金融緩和策、良好な米国の景気情勢などを追い風に大きく上昇しました。その後も概ね高値圏で推移しております。国内株式市場は、米国発の金融危機による世界的な株価下落と円高基調を背景に下落した後、もみ合いの状況が続きました。平成二十四年十二月以降は、衆議院選挙における自民党の大勝、日銀による金融緩和策、円安の流れから株価は反発に転じ、設定当初の水準に回復しましたが、平成二十七年後半以降は軟調に推移しております。

為替市場については、金融危機後の各先進国の利下げや景気鈍化により円高が進行しましたが、平成二十四年後半からは、日銀の金融緩和策の拡大やアベノミクスにより円安となりました。平成二十七年以降は日銀の金融政策への失望感などから円高に転じ、設定当初よりも円高の水準で推移しております。

平成二十八年十月七日現在の基準価額は九、一〇五円、設定当初からの分配金の合計額は五〇〇円と、ご投資家の皆様のご期待に添うに至らず、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

当ファンドの今後の運用につきましては、繰上償還の決定を受け、わが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に切り替えていくことを予定しており、その場合は組入資産の値動きによる基準価額の変動はほとんど無くなりますので、お含みおきくださいますようお願い申し上げます。

詳しい運用の内容につきましては、償還日以降運用報告書をご高覧賜る予定でございますが、以上取り急ぎご案内申し上げます。

今後とも証券投資信託の運用につきましては、ご投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力する所存でございますので、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成二十八年十月

大和証券投資信託委託株式会社

代表取締役社長 岩 本 信 之